

平成 28 年 3 月発行

ごあいさつ

西区の皆様、早春の候、いかがお過ごしでしょうか？
 私、山下てんせいも、自由民主党神戸市議員団の一員として活動し、はや一年が経過しようとしています。
 その間、「企業建設委員会」の委員長を拝命し、議員としてさらに経験をつむことができました。この度は、平成 27 年度末ということで、総括として市政報告をさせていただきます。
 どうかご一読のほど、宜しく願いいたします。



平成 28 年 3 月吉日 神戸市議員 山下てんせい

◆西区役所 新庁舎はどこに建つ？

平成 27 年度最大のトピックスは、西区役所を西神中央駅に移転する方針が、ほぼ定まったことでしょう。当初は「分庁舎」「支所」とみられておりましたが、区民の皆様と議会の熱心な要望により、市長を動かし、新庁舎を建設する方針に変えることができました。

今後、平成 28 年度には、新区庁舎に関する検討と、区庁舎基本計画の作成が進行していきます。新庁舎の施設・設備に関する議論も始まりますので、区民の皆様も動向にご注目ください。

今後の想定スケジュール

平成 29 ~ 30 年度頃 基本設計・実施設計
 平成 31 ~ 32 年度頃 入札手続き・建設工事

建設候補地

- プレンティ平面駐車場
- バスロータリー
- プレンティ 2 番館フットサルコート



◆平成 28 年度当初予算が可決されました

一般会計	7,273 億円	対前年比マイナス	9 億円
特別会計	7,287 億円	対前年比マイナス	199 億円
企業会計	3,161 億円	対前年比マイナス	147 億円



平成 28 年度の予算に関しては、昨年度から「神戸のまちの総合力を高め、上昇気流に乗せる」という市長の想いが感じられる編成となっています。一方、神戸市も遂に人口減に転じました。

そこで、少子超高齢化社会を生き抜く都市であるために、今何をすればいいのか？という視点で予算質疑や一般質問をいたしました。

なお今回は「ポスト震災 20 年」を意識し、投資的なテーマを中心に扱いました。

◆神戸の玄関口を美しく！「地下鉄三宮駅のリニューアル」(3月8日局別質疑)

その中で今回、私が交通局において提案した「地下鉄三宮駅のリニューアル」が、その時期も含めて検討に入りそうです。地下鉄開業から 31 年、かつて日本一美しいといわれた神戸グリーンも、老朽化してきました。一方、阪神電車三宮駅は、レンガを基調とした素晴らしいデザインによって、見事なイメージアップを果たしています。神戸市営地下鉄も見習って！「日本一美しい地下鉄駅」となるよう、引き続き提言をしていきます。



▲レンガを基調に洗練された阪神三宮駅



▲機能的だが暗く殺風景な地下鉄三宮駅通路と改札口周辺

◆ニーズに即した「区民ホール」の在り方を！(3月29日一般質問)

また一般質問においては、西区なでしこホールについて質問を予定しています。かねてより「音響が悪い」という声を多く聞いており、そこに問題意識があるのかどうか、どんな見直しができるのかを掘り下げて質問します。私は、今の西区のにぎわいづくりには残響の良いホールが不可欠と考えておりますので、明確な回答を得られるように準備したいと思います。

2月議会一般質問 3月29日 登壇いたします！

市会西区 山下てんせいの活動は [facebook](#) またはホームページにてご覧ください。

市政に対するご意見は、t.yamashita128@gmail.com まで

山下てんせい

検索

会派 HP <http://www.jimin-kobe.com/>

◆神戸水道ビジョン 2025 当局の取り組み姿勢について

Q・広報、コミュニケーションの充実・強化が柱の一つに掲げられています。事業への理解を進めるため市民との懇談会を開催するとありますが、どのような内容ですか？

見通局長 「広報・コミュニケーションの推進においては、サービスの受け手（お客様）として、市民の財産である水道の（オーナー）として、共に事業に参画していただく（サポーター）としての3つの側面を意識しながら、効果的な施策展開を図っていきたくと考えている。

懇談会については、ビジョンの内容はもちろんのこと、システムや経営の仕組み、財政状況や現行の料金制度の抱える課題、検討の方向性等、情報を共有しながら議論を深めてまいります」

要望

「お客様」「オーナー」「サポーター」の3つの視点が非常にわかりやすい。あとは経営情報など、専門的すぎて敬遠されがちな話題についても、わかりやすい表を作るなどして対応してください。

◆水の利用拡大策について

Q・節水型社会の進展により料金収入の減少が続く、水道事業の継続にとって大きな課題となっています。かつて私も健康増進の観点から、一人暮らしの若者や高齢者世帯へ入浴の必要性を説くようなキャンペーンを提唱しましたが、取り組み姿勢・発展性共に不足を感じます。先日プレスされた、神戸女子大学家政学部有志（株）ノーリツ、そして神戸市水道局の産官学コラボ企画「おふる部」も、について説明をしてください。

見玉経営企画部長 「お風呂につかる習慣が一番減少しつつある世代は【单身若年層】であることがわかってきた（特に20～29歳は『ほとんど入らない』が43.8%にのぼるそうです）。この世代の潜在意識を探るため、神戸女子大の学生に、ワークショップに加わっていただき、ターゲットに響くメッセージを【单身若年層】【単身高齢者】【共働きファミリー】【一般的ファミリー】の4層に分けて投げかけた。学生からのリアクションとして【おふる部】の企画が具体化したというわけである」



Q・（東京銭湯 HP を紹介して）「おふる部」のターゲットについては良くわかりました。しかしネット等の意見を見ると、お風呂は単純に水の使用にとどまらず、ガス代が高いからお風呂を焚くともったいないというものもあります。そういった事情も考えたうえで「おふる部」を一つのたたき台として、様々な事業者や市民の巻き込みを期待したいのですが、局長の見解は？

見通局長 「東京に出張した際に、類似の企画についてワークショップに参加させてもらったことがある。（東京銭湯 HP は）銭湯を残すことを目的に行っている取り組みだが、かなり若い方、企業でも電通の若手社員がボランティアで参加したり、東大の留学生が参加していたり、いろいろな人材が集まっていた。『おふる部』も今回の企画をきっかけとして様々な角度から参加していただけるよう、楽しみながら取り組んでいきたい」



水道局トピックス

今回水道局を私一人で担当させていただいたため、質問数は7種類にもおよび、この紙面ではとても紹介しきれません。よって今回はその中でも力を入れた2間について、まとめさせていただきました。

水道局の事業計画は「2025」とあります通り、10年計画です。その間に解決すべき最大の問題が「水道事業の健全運営と、そのための収入確保」です。水道料金収入は右肩下がりであり、今後劇的な収入増も見込めない…となると、いよいよ「水道料金値上げ?!」。自民党ではその前に打つべき手段を尽くすことを要望し続けております。局長も「適度な水利用につながれば」と答弁されておりますので、皆様の協力＝適度な水の利用をよろしくお願いいたします。

◆市バス路線・ダイヤの設定について

Q・平成28年度に向けた市バス路線の設定に当たり、市民の声を反映させる姿勢が見られることは大いに評価します。またその設定にあたっては、局として何度も現地に足を運び、協議の場を持ったと聞いています。公共交通の事業者として留意されたポイントはどこですか？

佐藤局長 「路線やダイヤを設定する基本的な考え方として、鉄道を大量の乗客を輸送する「幹」、市バスは鉄道へ乗客を輸送する「枝」として位置付け、地域ごとの需要に見合ったルートおよびダイヤとすることを心掛けている。地域の高齢化に伴う要望も大きくなっており、そういった要望は、できる限り一度は実現させたいと考えている」

Q・他方留意されたいのが、経営健全化団体への転落です。今後、劇的な乗客増も見込めないとすると、需給バランスをとりつつ収益を最大化する合理的な工夫が必要でしょう。つまり、路線の引き直しや減便についても、勇気をもって実行していく必要があるのではないのでしょうか？

野々下自動車部長 「長大路線や重複路線などの不採算路線の見直しや、減便も考えなければならない。平成28年度は、7つの路線で一日あたり661本のうち46本の減便を計画しているが、考え方としては一日100本以上運行している場合で、一定の利用者が見込まれる線や、営業係数が極めて悪い線において、特に乗客が少ない時間帯を調査したうえで、なるべく影響が出ないように工夫しながら減便を決断したい」

◆交通局 100周年記念事業について

Q・交通局は平成29年8月に、神戸市電営業開始から数えて100周年を迎えます。奇しくも神戸開港150周年と相まって、大きな節目となるこの機会を捉え、市民に対するアピールや魅力発信に努められ、神戸の活性化に資する動きを期待したいと思っています。しかし平成28年度予算を見る限りでは、記念事業にかかるものが見当たりません。またそういった計画も、耳に入ってきません。現時点でどのような検討がなされているのですか？

佐藤局長 平成27年は、実施内容の具体化に向けて、市民・利用者の皆様、市営交通友の会といった愛好家の皆様、局内職員に意見・提案や協力を呼びかけながら検討を進めている。具体的には10月の名谷車庫での交通フェスティバルにおいてアンケートを集めたり、ラジオ関西まつりや夜景サミット関連イベントでボンネットバスを運行した。また現在行っているアイデア募集や、PR用ロゴマーク公募などを行っている」

Q・「ニュースになる」「話題にのぼる」だけならば、他の鉄道会社のように電車接近音や発車音を変えたり、宣伝に力を入れるだけでいいでしょう。しかしながら100周年という大きな節目においては、次の世代に「何を残すか」という視点も大切だと思います。そこで、地下鉄西神山手線・三ノ宮駅コンコース階のリニューアルを提案します。いかがでしょうか？

佐藤局長 「地下鉄三宮駅は、平成27年6月で開業31年となる。この間、施設の老朽化対策の改修や、改札口のウォークインスルー化、お客様サービスコーナーの移設などを行ってきた。またスイーツステーションやATMの設置により、駅全体のイメージアップにも努めてきた。

三宮コンコース階の改修には様々な指導指針や法的な制約があるが、一日に12万人が利用する場所でもあることから、更なる活用ができないかを民間事業者からの提案をもとに検討したことがある。数年後に阪急三宮駅ビルが建て替えられ、また阪神神戸三宮駅・三宮地下街のリニューアルが完了したという流れの中で、100周年に合わせるのいいのかどうかも検討しつつ、手を打っていかねばならないと感じている。

